

## いわきオーガニックコットンプロジェクト始動!!

3・11東日本大震災はいわき市の主力産業である農林水産業や観光産業をはじめ各分野に甚大な被害を与えました。福島第一原発事故による放射能汚染の風評被害などのため、地元経済を支えてきた農業生産者は苦境に立たされています。また、いわき市に避難を余儀なくされた双葉郡8町村の農業従事者たちは、先人から代々、受け継いできた耕作地から切り離された生活を強いられ、慣れない土地での避難生活を送っています。

地域内外の力を結集し、今まで以上に地元の農業の魅力を再発見し、いわきの魅力を発信することが、いわき全体の地域活性化につながると考え、本会では被災農地や後継者不足で遊休農地となっている土地を利活用し、風評被害に負けない持続可能なオーガニック商品作物の栽培に取り組んでいくことを決意しました。

それが、「いわきオーガニックコットンプロジェクト」です。具体的には、有機農法での綿花栽培からスタートし、紡績から製品製造・販売・購入・使用・リサイクルの循環システムを構築し、自然環境に優しい「衣」のサイクルの完結形スタイルを提示し、子供たちへの環境教育ツールとしても活用していこうというものです。また、首都圏からの援農体験バスツアーを開催し、実際に被災地での農作業体験を通して、いわき農業に対する理解者や支援者を育成するとともに交流人口の再創出を図っていくことも計画しています。



耕作地の提供者は、10名を越えました。これからは5月下旬の種蒔きに向けて栽培に関わるボランティアの皆さんを数多く募っていきたく考えています。是非ひとりでも多くの皆様のご参加をお待ちしております。

なお、本事業は地球環境基金の助成を頂いて行なうものです。

## 親子で楽しむ 手づくり&リメイク フェア 『親子で楽しむ簡単リメイクコンテスト』開催

今年度、本会ではいわき市からの委託を受け、福島県緊急雇用創出基金事業「ファイバーリサイクル推進業務」を進めてきました。2月26日には、その一環として、これまで市内で取り組んできたファイバーリサイクルに対して一般市民の皆様が更に興味を持っていただけるようにと、『親子で楽しむ簡単リメイクコンテスト』を中心に、親子で手づくりやリメイクが楽しめるイベントを催しました。

『親子で楽しむ簡単リメイクコンテスト』では、1月15日に実施したリメイク素材となる古着をゲットするバスツアーに参加した家族が、約1ヶ月をかけて制作したリメイクファッションやバッグを披露し合うコンテストを行い、大賞には田子幸恵さんファミリーの作品が選ばれました。また、市内で活躍する手づくり大好きママさんグループの素敵な作品展示即売会やリメイク手芸などのワークショップコーナー、ジャグラーのこ〜すけさんのパフォーマンスステージなども設けられ、親子で楽しめる1日となりました。



## 地球環境基金助成事業報告書完成

本会では、今年度まで4年間にわたって地球環境基金の助成を受けながら古着リサイクル活動の広域化を促進する為の事業を行ってきました。この間、古着回収拠点は県内各地に広がり、次年度からの事業開始を検討中の会津若松地域を含めると50箇所にも上ろうとしています。東日本大震災後の動きを含め、古着リサイクルの広がりが地域内で果たした役割を検討する報告書を作成しました。配布を希望される方は事務局までご連絡下さい。

## イベントカレンダー

- 4月1日(日) ..... 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 22日(日) ..... 被災者支援チャリティバザー  
(ヨークタウンアクロスプラザ大原 南側駐車場)
- 5月1日(日) ..... 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 27日(土) ..... 被災者支援チャリティバザー  
(ヨークタウンアクロスプラザ大原 南側駐車場)
- 6月1日(日) ..... 上荒川ヨークベニマルついたちバザー
- 24日(日) ..... 復興支援チャリティーバザー  
(ヨークタウンアクロスプラザ大原 南側駐車場)

## 3.11東日本大震災小名浜地区追悼事業 「世界が祈る ふくしま・いわきのために ふくしま・いわきで祈る 世界のために」

オーストラリアの中央部エアーズロックの麓、人口250人ほどの小さな居住区（オーストラリア中央砂漠）に住み、自然に最も近い生活を営んでいるアボリジニの人々がいます。近くのある山にあるウラン鉱石を、神が自分たちに授け給うた宝物だと信じている人々です。その居住区から、5名の女性たちが3月11日にいわきまで海を渡って来て下さいました。東日本大震災から1年目の節目を迎えるこの日に、放射能汚染に苦しむふくしま・いわきの自然に祈りを捧げるために…。

普段、400キロ離れた最寄りの町へすらあまり出掛けない彼女たちが、8000キロ離れた日本に来ることを決意してくれた裏には、メルボルン在住のアボリジニアートのプロデュースをしている内田真弓さんの協力がありました。内田さんは、この地区のアボリジニの方たちの中に入り込んで生活を共にして来られた方です。その内田さんが間に立ってくださったことで、アボリジニの女性たちは不安を拭い去って今回の来日を決意してくれたのでした。

また、彼女たちの渡航費用など多額の事業費が必要となりましたが、NPO法人JKSK(女子教育奨励会)を始め、数多くの皆様のご支援によりこの難題もクリアすることが出来ました。そして、この事業は僅か2ヶ月ほどの計画期間にも拘らず、私たちの思い描いた何倍もの輝きを持った事業として実現に至ることができました。



当日、会場となった小名浜アクアマリンパークの小名浜美食ホテルには500名を超える市民の方々が集まり、祈りの時を共有して下さいました。アボリジニの女性たちのほかにも、ハワイ、チベット、インド、タイ、アイヌの祈りが、いわきのじゃんがら念仏踊りと共に捧げられました。祈りに繋がる多くの人々の環の中に、いわきが明日へと踏み出す力が潜んでいるに違いないと、その場に居合わせた誰もが実感できるひと時でした。



## 国際交流基金 地球市民賞 理事長特別賞受賞

3月7日、国際交流基金本部（東京都新宿区）において、今年度の「地球市民賞」の授賞式が行なわれました。そして、本会が、「地球市民賞理事長特別賞」の受賞団体としてその場に臨ませて頂きました。「国際交流基金地球市民賞」は、毎年、全国各地で国際文化交流活動を通じて、海外と日本の市民同士の結びつきや連携を深め、相互理解や共同作業の促進に貢献した団体に贈呈されています。

今年度は、昨年の東日本大震災を受け、岩手県、宮城県、福島県で国際文化交流を通じた復興支援に功績のあった3団体に対し「理事長特別賞」が贈られることになりました。そして、陸前高田市国際交流協会（岩手県陸前高田市）・国際交流協会ともだちin名取（宮城県名取市）と共に、その福島県枠で本会が選ばれたのです。

この受賞は本会単独の活動を評価いただいたものではなく、本会の活動を側面から支えてくださる数多くの皆様のお力添えによるものです。心から感謝申し上げます。

## 復興支援チャリティバザー&フリーマーケット 会場を変更してスタート!

アクアマリンパークは東日本大震災で壊滅的な被害を被りました。周辺の施設は見事に復興しましたが、フリーマーケット会場となるふ頭部分は現在も復旧工事中です。昨年は会場をニュータウンセンタービル駐車場に移し、3月までの10ヶ月間、開催してきたところですが、今年は大和情報センター様のご厚意により、小名浜大原にある「ヨークタウンアクロスプラザ」の南側駐車場を会場にして開催することになりました。

3月1日から出店者の募集をしたところ50店舗のフリーマーケット出店が決まりました。

市民の皆様、会場に足を運んでみて下さい、驚くほど安くて、素敵な掘り出し物が沢山並ぶフリーマーケットは壮観です。気に入った商品をゲットして楽しんでいただきたいと思います。

私たちの活動を会員として支えて下さい。会費納入をよろしくお願い致します。  
会費：活動会費（実際に活動に参加される方と、会報の講読という形で支援して下さる方） 2,000円/年  
賛助会員（資金的な面から支えて下さる方と法人・団体会員） 10,000円/年  
郵便振替 (02110-0-24908) でお送りください。